

総務常任委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和4年10月17日（月）～18日（火）

2 視察項目（視察都市）

- ・ 自主防災組織の取組、消防団サポーター及び女性消防団事業について（埼玉県三郷市）
- ・ シティプロモーションについて（埼玉県鴻巣市）

3 参加委員

委員長：下野 巖、副議長：米川 勝利

委員：岩本 守、西本 睦子、桂 睦子、河本 光宏、大野 幾子

4 調査概要

三郷市では、平成8年までに市内72団体によって自主防災組織が形成されていたが、訓練や敷材整備等は個々の判断で進められていたため、平成9年3月に全市的な自主防災組織連絡協議会が設立され、市の防災対策室において事務を担当することとした。現在は、自主防災組織相互の連携や協調が図られ、合同訓練やリーダー研修の実施、資機材の有効活用等、さらなる意識の醸成が図られている。

また、消防団員数が平成14年をピークに条例定数を減少し続けていることから、消防団協力事業所表示制度や消防団サポート事業、少年消防クラブ、女性消防団「アザレア分団」などの事業に取り組み、団員の確保に努めている。

鴻巣市のシティプロモーション政策は、平成29年度策定の第6次総合計画（前期計画）に基本事業として明記されており、移住促進動画の作成やSNSを活用した取り組みを進めている。令和3年度には、総合政策課内にシティプロモーション担当を設置するとともに、庁内での検討体制設置や外部懇話会を開催し、令和4年3月にシティプロモーション推進方針を決定している。

まち全体の統一的なイメージ戦略が不可欠なことから、コウノトリを象徴として、全方位的なストーリー性のある施策展開を図っており、ブランドマークの決定や市民等によるまちの魅力発信にも取り組んでいる。



鴻巣市にて

5 委員長所感

三郷市では、地域住民の横のつながりが希薄になる現在、防災活動の必要性を認識し、地元の方が率先して先導役となって行動されていることや、行政においても財政援助や適切な情報伝達を密にされているということを感じた。

鴻巣市のシティプロモーション戦略は、どこも似たようなシティセールス、移住者獲得を目標にすると成果測定が困難といった効果への疑問から見直しを進められており、市民主体を意識しつつ、市の持つ強みを打ち出し、エンタメ、ランドマーク、フードの3要素で成果向上の取り組みを進められているところに期待感を持つことができた。